

2024 年度
尚綱学院中学校
第 I 期入学試験問題

国 語

注 意 事 項

- 1 「はじめ」の合図があるまで問題の表紙を開かないでください。
- 2 決められたらんに受験番号のみを書いてください。
- 3 解答は必ずそれぞれ解答用紙に書いてください。
- 4 次のような場合は、手をあげて監督かんとくの先生に知らせてください。

印刷が見えにくい場合

問題用紙や筆記用具を落としてしまった場合

なにかわからないことがある場合

受験番号

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

一学期の終わりに、担任だった岩瀬先生がお休みになり、学校に来なくなった。たぶん、原因はあれしかない。

岩瀬先生が黒板に字を書いていると、誰かの合図で、いつせいにちぎった消しゴムが投げられたりしていた。岩瀬先生の背中や頭に当たると、クスクスと笑い声がさざ波みたいに起こった。うぜー。だりー。そういうささやきが、唯奈の耳にも入ってきた。

大人は強いものだと思っていたけれど、**A** 岩瀬先生も嫌だったのだろう。もうこのクラスには来たくないと思うほど苦痛だったのだろう。大人だって学校を休みたくなるのだろう。唯奈は他人の気持ちが理解できないことが多いみたいだけど、その気持ちなら理解できた。

唯奈も岩瀬先生と同じだから。
たとえば音楽会。唯奈が音を間違えると、誰かが舌打ちをした。すると、ほかの誰かも同じようにする。さざ波みたいに、舌打ちがつらなつた。ささやくような悪口も耳に届いた。

ささやき声だけじゃない。大きな声を出されることもある。そういう時は、頭が真っ白になってしまふ。後になって、誰に何を言われたのか、はつきりと思いつけないこともあった。

「今日この後、いったん家に帰って、六時からお母さんといっしょに塾の面談に出てくるよ」

塾に向かう車で、お父さんは言った。

「あつ、そっか」

唯奈は空を眺めながら返事した。冬らしい、刷毛で塗ったような筋状の雲が流れていた。

「どんな中学校が合うんだろうな、唯奈には」

「うーん、どこだろうね」

「他人事だな」

お父さんが笑った。

「そんなことないんだけど」

「唯奈、中学受験したい？」

したいのかと改めて訊かれると、一瞬わからなくなる。中学受験を目指して塾に入ろうねとお父さんとお母さんに言われて、わかった、と素直に入った。勉強はどんどん大変になってくるし、好きじゃない国語や社会は面倒臭い。でも、新しいことを知るの楽しかった。塾には学校よりも仲良しの友達もいるし、だから、たぶん……。

「したいけど……なんで？」

唯奈は言った。

「だったらいいんだけど、中学受験をさせたいって言い出したの、お父さんだからさ」

「そうだったんだ」

「話したことなかったかな。お父さんの頃にも中学受験はあったんだけど、うちの家はそういう方針じゃなくて、公立中学に進んだんだ。でも、中一の途中から学校に行けなくなつたんだよ。それで、高校選びにも苦労した。唯奈は、**①** お父さんと似ているところがあるから、同じ苦労をさせたくなくてさ」

唯奈はただ、ふうん、と思った。

「だからかな、唯奈も学校は得意じゃない」

唯奈の言葉に、運転しているお父さんが、ちらつとこちらに顔を向けた。

「そうなのか？」

「今日も、計算ドリルを男子に取られたし」

「どうして取られた？」

心配そうなお父さんの声に、さあ、と唯奈は **B** 返す。

「唯奈、大きな声で何か言われると、わけわかんなくなるからさ、忘れちった」

と、できるだけ楽しそうな声で付け加えた。② 車は、突然曲がったと

思うと、コンビニの駐車場に停まる。シートベルトを外して、お父さんが後ろに顔を向けた。

「唯奈、大丈夫なのか？」

お父さんは眉を八の字にして、じっとこちらを見つめた。

「えっ？ うん？ 大丈夫だけど」

「お父さんも同じだった、大きな声で言われるとわけがわからなくなつて、息ができなくなった」

「息ができないってことはないってば」

唯奈は茶化したがお父さんは困った顔のままだ。

「大学の時にも似たようなことがあって、そういう時はダッシュで逃げるって言われたんだよ」

「どこに？」

「どこに？ お父さんの時は廊下とか、外とかだったけど……唯奈は」

お父さんがそう言うので、唯奈は思いついた。

「保健室とか？ 友達もいるから、ちようどいいかも」

「そっか、じゃあ、保健室でいいよ」

お父さんははつとして腕時計を見て、慌ててシートベルトをする。またちよつと遅刻しちゃうな、と唯奈はおかしくなった。

その夜、塾から帰ってから、面談をしてきたお父さんとお母さんと志望校について話をした。

③ 面談してもらってよかったわ」

と、お母さん。

「どの学校だったら受かるって？」

唯奈は興味津々で訊いた。

「受かるかどうかは、わからないけど」

と、お父さんが笑う。

唯奈自身は、とくに行きたい学校はなかった。 **C** 通いやすいところ、というくらい。女子校でも共学でもいいし、制服には興味がないし、

どんな校舎かなんてもっと興味がなかった。そもそも、でこぼこ偏差値の自分に来てくださいと言ってくれる学校なんてあるんだろうか、とも思っている。

「共学か女子校かで決めるよりも、④ 校風で選んだほうがいいって。そ

れに大学附属でのびのびとした学生生活って思っていたけど、及第点に届かないと容赦なく留年させる厳しい学校もあるから、そこに入れば楽できると思っっちゃダメだとも釘をさされたわ。受験生の親だというのに、うちは情報弱者だなって反省……過去問、何校か借りてきたからね」

お母さんはそう言って、紙袋をテーブルに置いて分厚い本を引っ張り出す。そんなに借りてきたの、と唯奈は驚いた。

「唯奈ちゃん、急に大きくジャンプするタイプの子だって言ってた」

「ジャンプ？」

と、唯奈はお父さんに聞き返した。

「これだ、つてもものに出会ったら大きく飛び出すだろうから、いろんな可能性に対応してくれる学校がいんじゃないかってさ」

そう言われても、ピンと来ない。ふうん、と唯奈は口を尖らせた。

「唯奈に合いそうな学校をいくつかおすすめてもらっただけけど、その中でも、ここがいいんじゃないかって……どうかな」

お母さんが差し出したのは、駒澤国際中学校の過去問だった。

「どんなどころ？ 行ったことないよね？」

「数年前に女子校から共学になった進学校みたい。自由な校風で、海外の大学への進学も多いところみたいだ」

お父さんが説明すると、お母さんが続けた。

「個性を重視してくれるから、唯奈の良さを伸ばしてくれそうよ。それに、ここ、算数一科の受験もあるの。*1 東フロの偏差値で66だし、倍率もすごいみたいだけど」

「げ、むずそう。やばくない？」

「でも、唯奈なら可能性は十分あるって言ってくれてたぞ」

唯奈は首を傾げた。

「解けるかな……」

算数の神、*2 比呂なら余裕だろうけど。比呂みたいになりたいけど。

この算数は特徴的で、オリジナルの思考力系の問題が出るのだった。唯奈には自覚がないが、普段そういう問題ほどよく解けていると、五十嵐先生が言ったらしい。気になって、唯奈は駒澤国際中学校の過去問を解いてみた。

大問一は計算の工夫を使って解く四則計算。一見ややこしい数字のようでも、ひらめくと気持ちがいい。たしかに、好きかもしれない、こういう問題。

次に、平面図形の問題。正六角形 ABCDEF。その中にできた二つの正三角形が、星マークのような *3 六芒星になっている。さらにその中にできた、小さな正六角形の面積は30平方センチメートル。正六角形 ABCDEF の面積を求めなさい。

ああでもない、こうでもない、と補助線を引いていくと、小さな三角形の集合体ができる。それらは同じ底辺と高さ。つまり、すべて同じ面積。ということは……わかった！ 小さな正六角形の三倍にすればい

いってことだ！ 面白い！ パズルがどんどんハマっていく快感。

最後のダイヤグラムを使う旅人算は、かなり難しかった。けつきよく正解を導き出せなくて、ものすごく悔しかった。どれも意地悪に複雑にしているのではない。割り切れない数字ばかり使わせて、面倒臭い計算をやらせるのでもない。

『これ、君は気づける？』

問題から、そんな声が聞こえてくる。ちゃんと気づくことができれば、数式はどれもきれいに解けていく。そうだ、美しいんだ。

もつと、こういう問題を解けるようになりたい。楽しかった。ワクワクできる問題に出会えたことが、嬉しくてたまらない。

ギリギリだけ合格最低点を超えることができて、お母さんとお父さんが大袈裟なほどに感動していて、そんなにすごいことができたのかと身体の中がほてった。一本の筋ができて、熱いものが流れた。

もしかするとこの感覚が、自信が持てるってことなのかもしれない。こんな気持ちにさせてくれた、^⑤この学校に行きたい。そう思った。

(尾崎英子『きみの鐘が鳴る』による)

【注】

*1 東フロ：東研フロンティアという大手塾の略称で、唯奈は他の塾に通っているが、定期的に模試を受けている。

*2 比呂：唯奈と同じ塾に通っている友達で、算数が得意。

*3 六芒星：六角形の各辺を延長してできる頂点が六つの星形。

問1 A C に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|-------|---|------|
| ア | A | すっきり | B | はっきりと | C | せいせい |
| イ | A | すっきり | B | しつかりと | C | なるだけ |
| ウ | A | やっぱり | B | あっさり | C | できれば |
| エ | A | やっぱり | B | ゆつくりと | C | きわめて |

問2 ① お父さんと似ているところ とありますが、本文中からわかる「唯奈」と「お父さん」が似ているところとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

- ア 他人の気持ちを理解することが得意ではないところ。
- イ 新しいことを知るのが楽しくて仕方がないところ。
- ウ みんなが興味のあることに興味を持ってないところ。
- エ 大きな声で何かを言われるとわけがわからなくなるところ。

問3 ② 車は、突然曲がったと思うと、コンビニの駐車場に停まる とありますが、「お父さん」が駐車場に車を停めたのはなぜですか。理由を説明しなさい。

問4 ③ 面談してもらってよかったわ とありますが、「お母さん」はどのようなことがよかったと感じているのですか。その内容として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

- ア 家では見せない自分の知らなかった唯奈の一面に気づかせてもらい、唯奈の得意な問題を知ることができたこと。
- イ 合格できれば楽ができる学校があり、そこに入れば入学してからますます唯奈の良さを伸ばしてくれるとわかったこと。
- ウ 唯奈の得意とする算数一科で受験できる学校があり、そこならば唯奈のでこぼこの偏差値でも必ず受かると言ってもらえたこと。
- エ 親として情報弱者であったことに気づかせてもらい、唯奈の性格に合うおすすめの学校をアドバイスしてもらえたこと。

問5 ④ 校風で選んだほうがいい とありますが、「先生」は「唯奈」の性格をふまえてどのようなアドバイスをしてくれましたか。その内容を説明した次の文の（Ⅰ）・（Ⅱ）に入る表現を、本文中から指定の字数でぬき出しなさい。

唯奈は（Ⅰ 十四字）なので、（Ⅱ 十七字）がいいのではないかというアドバイス。

問6 ⑤ この学校に行きたい とありますが、「唯奈」がこのように思ったのはなぜですか。その理由を本文中の言葉をつかってくわしく説明しなさい。

問7

次の会話文は、この小説を読んだ生徒たちと先生が、「唯奈」の人物像について話しているものです。(Ⅰ)～(Ⅴ)に入る表現を、本文中から指定の字数でぬき出しなさい。

また、(Ⅵ)に入る内容を考えて答えなさい。

先生 唯奈は自分でも話しているように、学校は得意ではないようですね。

生徒A (Ⅰ 三字)のときに(Ⅱ 二字)を言われたことがえがかれていました。

生徒B 教室で嫌な思いをすることもありますが、学校に居場所がない訳ではなさそうです。つらいことがあっても(Ⅲ 三字)に行けば(Ⅳ 二字)もいと話しています。

先生 学校での出来事をお父さんに話している場面で気づいたことはありませんか。

生徒A 学校であったことをかくさずに正直に話していました。

生徒B また、(Ⅴ 十字)声で話したり、お父さんの話を茶化したりしていました。これは(Ⅵ 二十字以内)だと思います。

第二問 次の各問いに答えなさい。

問1 次の各文において、カタカナの部分は漢字に直し、——線部のことばはその読みを答えなさい。

- ① キュウトウ室でお茶を入れた。
- ② この海域は、冬場はキンリョウだ。
- ③ 親コウコウをする。
- ④ 流れにサカらって泳ぎ続ける。
- ⑤ 帰宅したらすぐに手をアラう。
- ⑥ 呼吸をととのえて話を聞く。
- ⑦ 単純なミスをしないよう注意する。
- ⑧ 毎日検温することが義務づけられる。
- ⑨ 午前五時ごろに潮が満ちる。
- ⑩ チームのピンチを救う。

問2 次の①～③の各文の主語と述語を、——線部ア～カからそれぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。

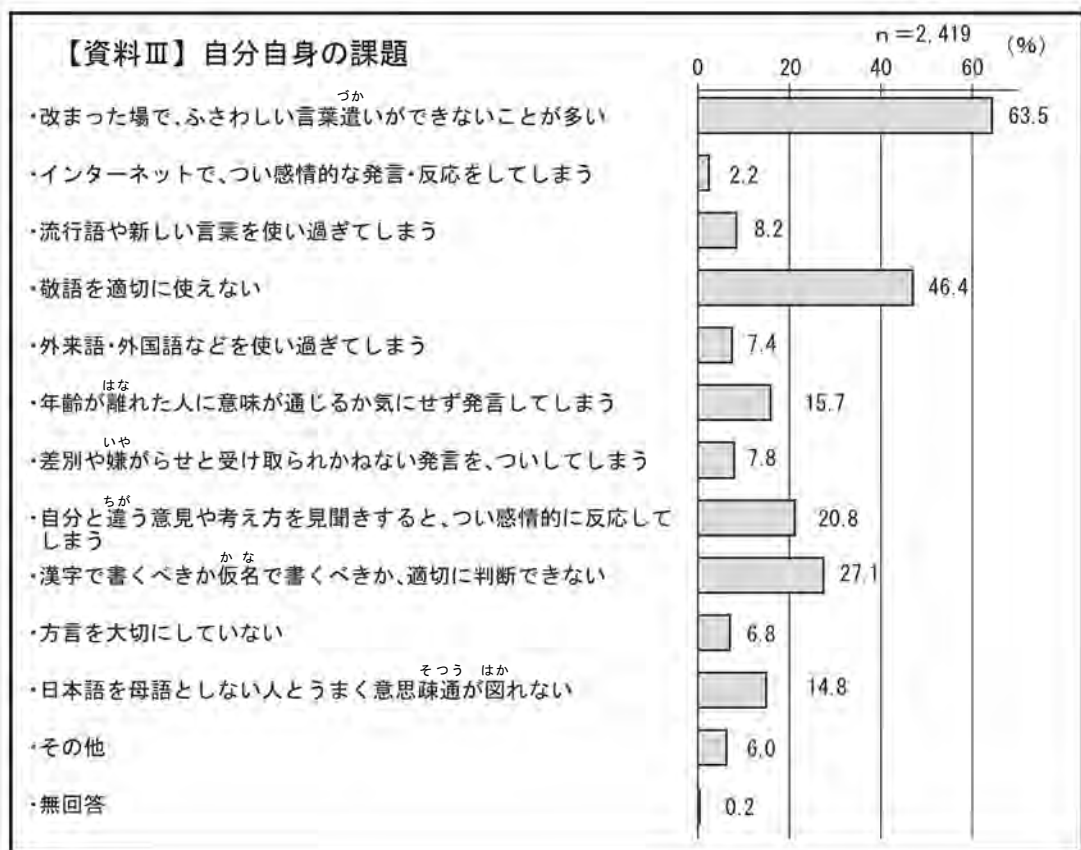
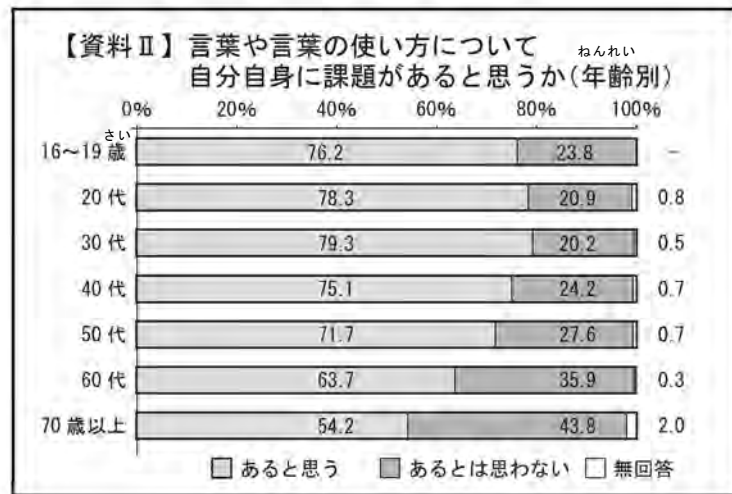
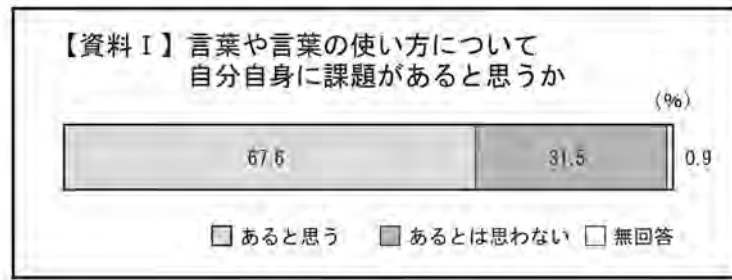
- ① アカナダでは、イ多くのウ人が、エ英語と、オフランス語を、カ話す。
- ② ア君こそ、イ卒業生のウ代表に、エ最も、オふさわしい、カ人物だ。
- ③ ア絶対に、イ負けないと、ウちかった、エその、オときの、カ私は。

問3 次の①・②の——線部の中で、言葉の働きや性質が他の三つと異なるものを、ア～エからそれぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。

- ① ア 近くにスーパーができるらしい。
 - イ 次の試合は日曜日らしい。
 - ウ あの映画は面白いらしい。
 - エ 今日はとても春らしい天気だ。
- ② ア 校長先生が賞状をくださる。
 - イ お客さんからおみやげをいただく。
 - ウ 先生のかかれた絵を拝見する。
 - エ 明日からの予定をうかがう。

第三問

次の資料Ⅰ～Ⅲは言葉や言葉の使い方についてまとめ
たものです。資料を見て、後の問いに答えなさい。



文化庁「令和三年度 国語に関する世論調査」より作成

問1 資料から読み取れる内容として正しいものには○、まちがっているものには×をつけなさい。

ア 言葉や言葉の使い方について、七割近くの人が自分自身に課題があると思っていて、具体的な課題として「改まった場で、ふさわしい言葉遣いができないことが多い」と答えた人が最も多い。

イ 言葉や言葉の使い方について、自分自身に課題があると思っている人は16～19歳を除いて年代が上がるほど「あると思う」と答えた人の割合が低く、70歳以上の人では54・2%となっている。

ウ 言葉や言葉の使い方について、自分自身に課題があると思っている人で、「流行語や新しい言葉を使い過ぎてしまう」と答えた人の次に「外来語・外国語などを使い過ぎてしまう」と答えた人が多い。

エ 言葉や言葉の使い方について、自分自身に課題があると思っている人で、「その他」と「無回答」を除くと、「インターネットで、つい感情的な発言・反応をしてしまう」と答えた人の割合が最も低い。

問2 あなたはクラスで言葉や言葉の使い方について意見を発表することになりました。自分の課題と改善策を、体験をふまえて三百字程度で書きなさい。資料を参考にしてもかまいません。

【問題は以上で終わりです。】

国語 解答用紙①

※印のらんは、記入しないこと。
句読点はすべて一字に数えること。

受験番号
得点
※

小計
※

第一問

問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
VI		II				
		I				
		II				
		I				
		III				
		II				
		I				
		IV				

小計
※

第二問

問 3	問 2	問 1			
①	③ 主語	① 主語	⑨ 満(ちる)	⑤ アラ(う)	① キュウトウ
②					
	述語	述語	⑩ 救(う)	⑥ 呼吸	② キンリョウ
				⑦	③
	② 主語		単純		④ コウコウ
				⑧	④
	述語		検温		④ サカ(らって)

国語 解答用紙①

※印のらはは、記入しないこと。
句読点はすべて一字に数えること。

受験番号
得点
※

第一問

小計
※
40点

問1	ウ	3点																																								
問2	エ	3点																																								
問3	唯奈が学校でつらい目にあっているのではないかと心配になり、じっくり話を聞きたかったから。																																									
問4	エ	3点																																								
問5	<table border="1"> <tr> <td>急</td> <td>に</td> <td>大</td> <td>き</td> </tr> <tr> <td>る</td> <td>タ</td> <td>イ</td> <td>プ</td> </tr> <tr> <td>い</td> <td>ろ</td> <td>ん</td> <td>な</td> </tr> <tr> <td>し</td> <td>て</td> <td>く</td> <td>れ</td> </tr> <tr> <td>る</td> <td>可</td> <td>3点</td> <td>く</td> </tr> <tr> <td>学</td> <td>能</td> <td>性</td> <td>ジ</td> </tr> <tr> <td>校</td> <td>性</td> <td>に</td> <td>ヤ</td> </tr> <tr> <td>3点</td> <td>対</td> <td>応</td> <td>ン</td> </tr> <tr> <td>5点</td> <td>3点</td> <td>5点</td> <td>プ</td> </tr> <tr> <td>5点</td> <td>5点</td> <td>5点</td> <td>す</td> </tr> </table>		急	に	大	き	る	タ	イ	プ	い	ろ	ん	な	し	て	く	れ	る	可	3点	く	学	能	性	ジ	校	性	に	ヤ	3点	対	応	ン	5点	3点	5点	プ	5点	5点	5点	す
急	に	大	き																																							
る	タ	イ	プ																																							
い	ろ	ん	な																																							
し	て	く	れ																																							
る	可	3点	く																																							
学	能	性	ジ																																							
校	性	に	ヤ																																							
3点	対	応	ン																																							
5点	3点	5点	プ																																							
5点	5点	5点	す																																							

問6	問題を解いてみると楽しく、ワクワクできる問題に出会えたこともうれしかったし、自信のようなものを感じさせてくれたから。			
問7	VI	V	I	II
5点	た	お	で	音
5点	く	父	き	楽
5点	な	さ	る	会
5点	か	ん	だ	II
5点	っ	に	け	悪
5点	た	心	楽	口
5点	か	配	し	III
5点	ら	を	そ	保
5点		か	う	健
5点		け	な	室
5点				IV
5点				友
5点				達
5点				2点×5

第二問

小計
※
30点

問1	⑤	①	⑨
①	給湯	アラ(う)	洗
②	②	⑥	⑩
③	③	⑦	③
④	④	⑧	④
⑤	⑤	⑧	④
⑥	⑥	⑧	④
⑦	⑦	⑧	④
⑧	⑧	⑧	④
⑨	⑨	⑧	④
⑩	⑩	⑧	④
主語	主語	主語	主語
述語	述語	述語	述語
カ	ウ	カ	ウ
2点×15	(各完答)	2点×15	(各完答)

